

【面接官の印象】

1. 外国人面接官(以下 NS)について
やや年配の男性で50歳代前半位でしょう。米国英語のような気がしました。話し方は少しモゴモゴした感じがありました。特段の表情はなく、淡々とした感じでした。
2. 通訳ガイド(以下 TG)について
やや年配の女性。明るい感じで、手順の説明は明快でした。表情は穏やかで温和な感じでした。

【面接試験の実際】

試験形式は、富士アカデミーの直前セミナーと全く同じ。入室後、TG が英語で名前を尋ねる。
それ以外のやり取りはなく、ただちに通訳問題に入る。

1. 通訳試験について

TG	<p>日本語で手順を説明する。「日本文を読み上げるので、読み終わったらただちに翻訳してください。約1分ぐらいでお願いします。メモをとってもよいです。ただし、メモは持ち帰らないでください。」(メモ用紙とボールペンが椅子の横に置いてある。)</p> <p>「日本は四方を海で囲まれており、面積の70%が山々であり、多くが森で占められています。川は幅が狭く、流れが急であり、海に出たところに平野ができています。」</p> <p>読み上げる速度は、少しゆっくり加減で、はっきりとした声。</p>
----	---

2. 2分間プレゼンテーションについて

TG	手順を説明する。「三枚の紙からテーマを一つ選んでください。30秒です。メモを取ってもよいです。その後英語で説明してください。なお、1分経過したところで、合図をします。」
NS	<p>カード3枚を重ねて渡す。 そこに日本語で書かれていたのは、</p> <ol style="list-style-type: none">①東京が他の都市と異なる点について②旅館について③浮世絵について <p>1分経過したところで、「1分経過しました。(英語)」という発言と合図があった。</p>

3. 質疑応答について

NS	<p>英語で質問。 浮世絵を選択したので、これに関する質問があった。</p> <ol style="list-style-type: none">①東海道という言葉を使ったが、それは何か。②浮世絵は今でも東京で作っているのか。
----	--

TG	<p>③北斎について、その作品を説明せよ。</p> <p>④日本ではどこで浮世絵をみることができるか。</p> <p>NSに時間だという合図を送り、終わりとなる。</p>
----	---